

令和7年12月定例会一般質問

通告3

質問 児童生徒や住民の交通安全対策について

8番 佐久間 ふみ子 議員

【質問：佐久間 ふみ子 議員】

8番、佐久間ふみ子でございます。通告に従いまして、児童生徒や住民の交通安全対策について2点の質問をさせていただきます。

国道272号道路の交差点を境に、近年、緑町南1丁目には新しい住宅が建ち、子育て世帯の若い御家族が増えています。交差点の北1丁目側にはおそば屋さんやコンビニ、一般住宅が建ち並んでいる住宅地になっており、また、最寄りの小学校、中学校へ通うためには、北側方向にあるため国道272号道路を横断しなければなりません。そのため児童生徒や地域住民の安全確保が喫緊の課題となっています。



質問 通学路の安全対策と歩道の整備要望を

答弁 関係機関と連携し継続して要望してまいります

【質問：佐久間 ふみ子 議員】

1点目の通学路の安全対策と歩道の整備要求をについて質問いたします。

南1丁目から南2丁目にかけて歩道が未整備の区間があり、児童生徒が車道を歩かざるを得ない状況です。

北海道警察の統計によれば、令和6年までの5年間で小学生の交通事故死傷者の約6割が歩行中に発生しており、特に小学1年生が最多となっています。全国的にも通学路での事故は依然として歩行中であり、令和3年6月、千葉県八街市で歩道のない道路左側端を下校中の小学生の列に大型トラックが衝突し、5名が死傷する事故が発生、その後、各関係機関による通学路における交通安全対策が実施されたところです。

南1丁目交差点から南2丁目の焼肉店までの約70メートル間の歩道が整備されておりません。八街市のようなことが起こっては、取り返しのつかないことになります。この件

について、町長はどのように感じておられるのでしょうか。

町として児童生徒の安全な通学環境を確保するため、未整備区間の歩道整備について、さらに踏み込んだ要望を行うべきではないかと考えますが、町長の見解を伺います。

【答弁：町民生活部長】

佐久間議員御質問の1点目、通学路の安全対策と歩道の整備要望について御答弁申し上げます。

通学路の安全対策につきましては、地域の状況や危険箇所を事前に確認し、学校と家庭が協力して児童生徒の安全を最大限に確保できるよう取り組んでおります。

御質問にありました国道南側の歩道設置につきましては、国が所管する内容となるため、これまでに釧路開発建設部へ複数回要望してまいりました。その協議の中では、現状としては歩道設置は難しいとの回答を受けておりますが、今後の土地利用状況の変化を見ながら検討していく方針であることが確認されております。

今後も道路管理者をはじめとする関係機関との連携を密にしながら国に対し継続した要望を行い、土地利用状況の変化を踏まえたさらなる検討を求めてまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【再質問：佐久間 ふみ子 議員】

8番、佐久間ふみ子でございます。再質問させていただきます。

ただいまの御答弁で、町としては複数回要望を挙げていただいていることは理解いたしました。そして、現状として歩道の設置は難しいとの回答であるということですが、この中で確認したいのですが、土地利用状況の変化を見ながら検討していく方針であるとのことでございますが、具体的にどのような条件や状況が整えば、歩道設置に向けて検討していただけるのでしょうか。お答えください。

【答弁：町民生活部長】

ただいまの御質問に御答弁申し上げます。

具体的な内容についてということでございましたけれども、私どものほうで具体的にこうなればというところでのほうは確認はしてございません。あくまでも判断しますのが釧路開発建設部ということになりますので、例を挙げますと、開発が進みまして住宅がもっと張りついてくるですか、そういうところは考えられるのかなというふうな認識でおります。以上になります。

【再々質問：佐久間 ふみ子 議員】

再々質問させていただきます。

それでは今現在、新築中の物件もありますけれども、さらにそういう住宅が増えれば、そういう可能性が設置に向けての検討がされるという、そういう理解でよろしいでしょうか。

【答弁：建設水道部長】

建設水道部長の中野です。佐久間議員の御質問にお答えいたします。

もともとですね、国道の今言われている国道の南側っていうのが、用途地域で言えば都市計画上の白地地域になっておりまして、今用途が設定されている状況じゃないんですね。それでその白地地域に私どもは規制をして家を建てちゃいけないということは言えないものですから、そこにどんどんと家が建っていったという、この状況の変化っていうのが一つあります。

もともとは白地地域ですので、そちら側には住宅張りついておりませんでしたので、歩道がないっていう状況だったんですね。ただ、そこから数年経ちましてポツポツと家が建ち始めました。最初は子どもがいる家族というのが、今現状で私たち押さえているのが小学生が1名、中学生が1名、そして未就学児が3名ということで、その南側だけなんですけども、そういう今状況にあるということを報告しております。

それでその子どもたちが今どういう方法手段で学校のほうに通学しているのかというところでございますけれども、通学については保護者の送り迎え、送迎で行っていると。小学生の歩道のないところを歩かせるというわけにいきませんから、恐らくそういうことでやられていると思います。子ども1人だろうが2人だろうが、子どもの通学路としての安全を守るというのは、これ当然のことですが、今現状としてないところに歩道を設置するというところの判断基準というのは町ができるものではなくて、あくまでも鉄路開発建設部、国の方で、国道ですのでどうしても所管がそうですので、そういう形になってしまいます。

ですので、私どもとしては、子どもの安全を守るためにには要望として、毎年、必要なんだということは訴えていきますけれども、もう少し状況が変わって、都市計画上の用途地域がまた見直しの段階で色づきがされた段階に入りますと、またちょっと状況が変わると思います。ただ、だからといって要望しないかということではなくて、事あるごとにですね、毎回要望していきたいというふうに考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

質問 国道 272 号交差点に横断歩道の設置要望を

答弁 関係機関へ引き続き要望してまいります

【質問：佐久間 ふみ子 議員】

8番、佐久間ふみ子でございます。2点目の国道 272 号交差点に横断歩道の設置要望について質問いたします。

緑町北1丁目と南1丁目の交差点はコンビニ、食堂、会社や住宅が建ち並び、地域住民の往来が頻繁です。地元の町内会は令和3年から毎年町に要望書を提出しておりますが、いまだ進展がありません。交通安全教室では道路を渡るときは横断歩道を渡りましょうと子どもたちに教えます。

しかし、横断歩道がありません。このような横断歩道のないケースで、子どもたちにどのようにして交通安全を指導するのでしょうか。

町内の子どもたちや住民が安心して道路を横断できるよう、横断歩道の設置を強く要望すべきと考えます。町長の見解を伺います。

【答弁：町民生活部長】

佐久間議員御質問の2点目、国道 272 号の交差点に横断歩道の設置要望について御答弁申し上げます。

当該交差点における横断歩道の設置要望につきましては、まちづくりに関する意見、地域の課題書においても、緑町町内会様より同様の御意見をいただいているところであります。横断歩道は交通安全施設となることから、本町といたしましても、釧路方面公安委員会へ要望しているところでありますが、歩道と一体的な施設であることから、そもそも歩道がない場所では設置が難しい状況がございます。

当然ながら歩道があった場合でも、交通量や周辺の状況など予算の問題も含めまして、総合的に設置の可否が判断されているものと認識しております。市街地や郊外を合わせまして歩道や信号、横断歩道など、50 件を超える要望となっておりますが、国道における歩道などの課題は国道を所管する釧路開発建設部、信号や横断歩道に関しましては交通安全施設を所管する釧路方面公安委員会へ引き続き要望してまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【再質問：佐久間 ふみ子 議員】

8番、佐久間ふみ子でございます。再質問させていただきます。

現在、既に5軒の住宅と建築中の6軒目が建っております。そこには先ほど部長より説明ございましたが、そこには小学生の御家族、中学生の御家族や子育て中の御家族にとって、安心安全な環境は本当に重要です。

歩道の整備、横断歩道の設置について、引き続き関係機関に要望していただくとともに、要望が実現するまでの間の子どもたちの安全を守るため、子ども横断注意、通学路であることを促す看板や旗の設置など、暫定的な安全確保策を講じる必要があると考えます。この必要性について、町長のお考えを伺います。

【答弁：町民生活部長】

ただいまの再質問に御答弁申し上げます。

そういうものの部分につきましては、必要なものとして十分認識しているところでございますので、今後どういったものがいいのか、町内会の方々とも相談するですか、そういうところも踏まえまして、検討してまいりたいと思いますので、御理解を賜ればと思います。以上です。